五木東小

第18号

学校便り
文責
生田　文明

多くの学び　～修学旅行～

天候に恵まれた十七～十八日に五、六年生が修学旅行に出かけました。今回の修学旅行では、①災害対策学習、②歴史・国際理解学習、③平和学習、④科学体験学習の大きく４つの柱を立て、学習をしました。

①の災害対策学習では、雲仙災害対策記念館を訪れ、平成二年十一月に始まった平成噴火から平成八年の噴火終息宣言までに雲仙・普賢岳で何が起き、そして何が残ったかを火山や防災について展示物や疑似体験をとおして学習しました。自然の驚異、災害の怖さ、防災、火山との共生について学習を深めることができました。

②の歴史・国際理解学習では、異国情緒あふれる長崎市内を散策。出島、大浦天主堂、グラバー園等を訪れ、江戸から明治にかけ、世界への窓口であった長崎の文化、歴史、産業について学ぶことができました。








③の平和学習では、永井隆記念館、長崎原爆資料館を訪れ、原爆の怖さ、平和の尊さを学びました。また、平和公園では、平和の集いを行い、折り鶴を捧げ、平和への誓いを新たにしました。ホテルでは、被爆当時十歳であった下平さんの戦争、被爆体験を伺うことができました。「命の大切さ」「戦争の悲惨さ」「今、私たちがなすべきことは何か」を私たちの心に深く届けていただきました。

④の科学体験学習では宇宙旅行体験など、宇宙・科学の面白さをたくさん体験することができました。

今回の修学旅行は、あくまでも通過点です。事後学習をとおして、①～④の柱にそった学習をさらに深めていきたいと思います。

「思いーつに 仲間とともに」～熊本県人権子ども集会～

今もなお、部落差別をはじめ様々な差別、インターネットでの悪口などで、人を傷つけたり、苦しめたりする事件が数多く発生しています。そこで、差別をなくす取組をもっと多くの人々に広げ、差別やいじめをみんなでなくしていきたい。みんなが思いを一つにして、仲間とともに行動していく一歩を踏み出したい。そんな思いを込めて、県内の小中高校生が一堂に会し、熊本県人権子ども集会が開催されました。

集会では、児童会・生徒会で差別やいじめをなくす取組について、小・中・高校生が発表しました。本校から参加した十三人の児童は、各校の取組を熱心に聴き、また、パークドームを埋め尽くす数千人の小中高校生を観て、差別やいじめをなくすために多くの友だちが頑張っている姿を見取ることができたようです。本校で、今後も差別やいじめをなくすためにはどうすべきか、児童自ら考え、行動を促すよい機会となりました。





今回の人権集会で学んだことは、十二月の本校の人権集会で発表してもらい、人権教育の取組をさらに進めていきたいと考えています。

自由研究 頑張りました

夏休み期間中、たくさんの子どもたちが、自由研究に取り組みました。どの作品も工夫されており、努力の成果がみられるものばかりでした。その中から、今年の人吉・球磨地区科学展に、本校から五作品を出品し、入賞しました。

【優賞】
「コップからコップへ動く色水」…田山
「三つの地域の気温調べ」…嶽本・岡本・山尾

【良賞】
「きらきらけっしょうづくり」…数山
「牛乳からバターはできるの」…黒木
「いろいろなものの電気の通り道」…岡本

優賞の作品は、山江村歴史民俗資料館にて展示（10/12~10/19）されました。

科学展に出品した五作品については、理科室外の廊下に掲示しています。ぜひ、来校された折にご覧ください。

